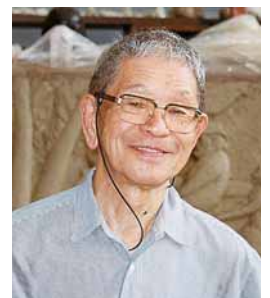


佐藤忠良記念 子どもアトリエ

〔詳細〕
市民文化課 ☎211-2261



さとう ちゅうりょう
佐藤忠良
(1912年ー2011年)
人物彫刻を追求した、日本を代表する彫刻家。宮城県に生まれ、13歳〜20歳を札幌で過ごした。美術の教科書や絵本を数多く手掛けるなど、子どもの教育分野の活動にも力を注いだ。

見て、触れて、表現する—— 森の中の小さな体験型工房

9月でオープン5周年を迎える佐藤忠良記念子どもアトリエ。南区の芸術の森野外美術館内にあるこの施設は、子どもたちが優れた芸術作品に親しんだり、自らも表現したりすることを通して、豊かな感性を育むために開設されました。

木の温もりあふれる館内では、札幌にゆかりが深く、子どもの造形教育にも力を注いだ彫刻家・佐藤忠良の作品にじかに触れられるほか、粘土での作品制作や鑄造体験など「つくる」ことの楽しさを味わうことができます。



つくる 創作体験ができるワークショップ・ルーム

粘土を使った彫刻や、スズ合金を使ったキーホルダーなど、子どもが自由な発想で作品作りを楽しむことができます。

体験しました！

粘土を力いっぱい伸ばしたり、ひねったり。大自然に包まれたアトリエでの体験に、娘もすっかり芸術家気分。想像力を働かせて作品が出来上がっていくことへの喜びを、親子で体感することができました。

粘土彫刻を制作した 宮崎さん親子



さわる 生き生きとした彫刻の形を手で感じよう！



家族や子どもをモチーフにした、佐藤忠良の彫刻やデッサンなど40数点を展示。彫刻作品には触れることもできます。



ひまわり 1965-94年

忠良の友人の娘がモデル。あどけない表情でひまわりの花を持つ姿に、忠良の深い愛情が感じられる作品。

アトリエスタッフから

芸術の楽しさを 知ってほしい

ささき しおり
佐々木 汐里さん



子どもたちに気軽に芸術に触れてほしい。そんな佐藤忠良さんの思いを形にしたのがこの施設です。作品に触れたり、自分でも創作したりすることで、芸術の楽しさを知ってもらいたいですね。

市の取り組み

ハローミュージアム

豊かな感性を養うための取り組みとして、小学5年生を学校単位で子どもアトリエなどに招待。鑑賞の仕方を学んだり、作品を制作したりする機会を増やしています。



佐藤忠良記念子どもアトリエ

所在地 南区芸術の森2(芸術の森野外美術館内)

開館時間 9時45分〜17時30分(6月〜8月)

休館 11/4〜翌4/28の月曜、年末年始

観覧料 700円(野外美術館の観覧料を含む)

駐車場 650台(普通車500円)

交通機関 地下鉄南北線「真駒内駅」下車、中央バス2番乗り場から「空沼線」または「滝野線」に乗り、「芸術の森センター」または「芸術の森入口」で下車

詳細 芸術の森美術館 ☎591-0090

札幌 子どもアトリエ

検索

